

新丸山ダム環境調査検討委員会（第17回）議事概要

1. 日 時 平成26年 1月28日（火） 15:30～17:00
2. 場 所 じゅうろくプラザ 5階 小会議室2
3. 出席委員 西條 好迪 委員長、大塚 之稔 委員、小笠原 昭夫 委員、梶浦 敬一 委員、駒田 格知 委員、野崎 悠子 委員、野平 照雄 委員、松尾 直規 委員
4. 議 事 (1) 規約の改定について
(2) 自然環境への環境保全措置、環境配慮状況等について
(3) 今後の予定について
(4) 付替県道井尻八百津線における環境保全への取り組みについて
5. 配付資料 資料一覧
資料－1. 議事次第
資料－2. 出席者名簿
資料－3. 配席表
資料－4. 新丸山ダム建設事業について
資料－5. 規約の改定について
資料－6. 自然環境への環境保全措置、環境配慮状況等について
資料－7. 今後の予定について
資料－8. 付替県道井尻八百津線における環境保全への取り組みについて
6. 主な審議結果等
 - (1) 規約の改定について
 - ・特になし（規約を改定する）
 - (2) 自然環境への環境保全措置、環境配慮状況等について
 - (3) 今後の予定について
 - ※（2）及び（3）は一括審議
 - ・重要種は、レッドリスト掲載種、自然公園に関わる種および、今後の個体数あるいは種数が減るような場合を踏まえて検討してきた。今回、レッドリスト掲載種が変更となり、そこに注意点を置いて、整理していく。
 - ・景観は、眺望だけでなく視野に入ってくる周りの場面がどのように映るかが重要である。工事が行われること、新しいダムができることとその地区の生活環境との関わりや動植物との触れ合いの関係を確かめて行く。
 - ・工事期間中等に、緊急に新しく発見があった場合には各専門分野の委員に相談し、さらに全体で会議をしなくてはならない場合に委員会を招集する。
 - ・最初の調査から今までのおよそ20年間のデータを、整理した資料を見たい。
 - (4) 付替県道井尻八百津線における環境保全への取り組みについて
 - ・改変区域に近いところでコウモリの集団繁殖地が見つかっている。工事が進む中で、夜間赤々と照明を点けるのではなく、工事区域だけに限るような照明とする配慮が欲しい。

- ・調査結果をとりまとめる上で、調査範囲を示す文言については、どの範囲であるか明確な表現とすること。
- ・鳥類について、確認された種が、工事をする上で保全対策が必要なのか、たまたま渡りの途中で確認されただけのものは、地元の識者にアドバイスを受けると良い。
- ・昆虫について、調査時期を春、夏、秋の3季に限ると、その調査時期以外に確認される種がないことになる。地元の識者の意見を聞くことが重要である。
- ・生息情報の漏洩に気をつけなければいけないことから、地元の識者は、委員を通じて紹介を受ける。
- ・第2小和沢橋(仮称)がある小さな沢での工事中の濁水等については、沢の通常の流量が大きくないので十分注意する必要がある。

以 上